

第 2 3 2 号

連 携 室 だ よ り

公益財団法人
北海道医療団

帯広第一病院



帯広第一病院理念・基本方針

【理 念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基 本 方 針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。



あかね公園の桜

今号の内容

- ・ 令和6年度消化器内視鏡センター実績報告 消化器内視鏡センター長 高橋 隆宏 (2)
- ・ 令和6年度化学療法センター実績報告 化学療法センター長 橘 知睦
歯科口腔外科入院による全身麻酔下手術実績報告 歯科口腔外科部長 工藤 章裕 (3)
- ・ 腹水濾過濃縮再静注法 (CART) についてのご紹介 臨床工学科 室長 一色 哲 (4)

令和6年度消化器内視鏡センター実績報告

消化器内視鏡センター長 高橋 隆宏



新緑の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。消化器内科部長、消化器内視鏡センター長の高橋でございます。

令和6年度における当センターの内視鏡診療実績についてご報告申し上げます。上部消化管内視鏡検査を5,728例（うち治療190例）、下部消化管内視鏡検査を1,797例（うち治療378例）、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）を312例、小腸カプセル内視鏡検査を3例、小腸バルーン内視鏡検査を6例、超音波内視鏡検査（EUS）を141例施行いたしました。

こうした内視鏡診療を継続できておりますのも、ひとえに地域の医療機関の皆様からのご支援とご協力の賜物と、深く感謝申し上げる次第です。今後とも地域連携室を通じてご紹介を賜れましたら幸甚です。何卒よろしくお願い申し上げます。

検 査 手 技	令和4年度	令和5年度	令和6年度
上部消化管	5,529 例	5,727 例	5,728 例
（内 訳） 上部消化管内視鏡検査	5,358 例	5,448 例	5,538 例
消化管止血術	29 例	62 例	62 例
異物除去術（アニサキスなど）	18 例	18 例	9 例
食道・胃ESD(内視鏡的粘膜下層切除術)	21 例	40 例	24 例
胃EMR(内視鏡的粘膜切除術)	3 例	6 例	4 例
食道・胃十二指腸静脈瘤硬化療法・結紮術	4 例	20 例	29 例
食道・胃ステント留置術	21 例	10 例	6 例
内視鏡的胃ろう造設術	34 例	35 例	12 例
その他	41 例	88 例	44 例
下部消化管	1,658 例	1,705 例	1,797 例
（内 訳） 下部消化管内視鏡検査	1,392 例	1,407 例	1,419 例
大腸止血術	17 例	28 例	34 例
大腸ESD(内視鏡的粘膜下層切除術)	28 例	38 例	65 例
大腸EMR(内視鏡的粘膜切除術)	176 例	199 例	239 例
大腸ステント留置術	21 例	20 例	24 例
その他	24 例	13 例	16 例
ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査）	198 例	233 例	312 例
カプセル内視鏡検査	0 例	4 例	3 例
バルーン内視鏡検査	0 例	1 例	6 例
胆膵EUS（観察）	79 例	106 例	141 例
interventional EUS	0 例	0 例	31 例
肝生検（経皮的針生検）	6 例	6 例	10 例
経カテーテル肝動脈塞栓術	0 例	0 例	0 例
経皮的ラジオ波焼灼療法	0 例	0 例	0 例
合 計	7,470 例	7,782 例	8,028 例

令和6年度化学療法センター実績報告

化学療法センター長 橘 知睦



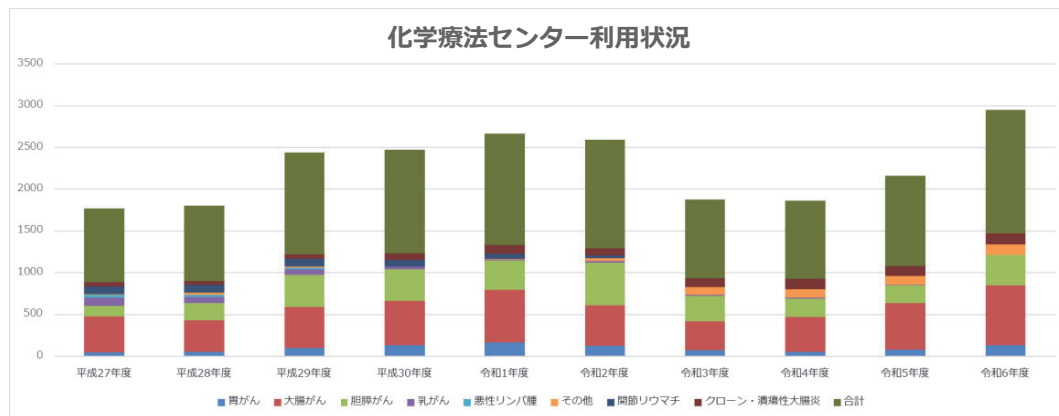
十勝地域の先生方には、日頃より大変お世話になっております。

令和6年度の化学療法の施行状況についてご報告申し上げます。化学療法施行数は全体で1474件であり、昨年比で394件（約36%）の増加となりました。

内訳は、大腸癌が714件（48.4%）と最も多く、次いで胆膵癌が365件（24.7%）、胃癌とクローン・潰瘍性大腸炎がそれぞれ135件（9.2%）、その他が125件（8.5%）でした。

当センターでは、消化器癌をはじめ、様々な疾患に対する化学療法に対応しており、患者さんの病状や希望に合わせた最適な治療を提供しています。

地域の先生方におかれましては、治療が必要な担癌患者様がいらっしゃいましたら是非ご紹介を頂きたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



歯科口腔外科入院による全身麻酔下手術実績報告

歯科口腔外科 部長 工藤 章裕



歯科口腔外科の令和6年度（令和6年4月から令和7年3月まで）の全身麻酔下での手術実績を報告させていただきます。

全身麻酔下で手術をおこなったのは126人で、手術件数は419例でした。

手術内容は抜歯が342件と最も多く、そのうち171件は埋伏智歯などの埋伏歯抜歯でした。

顎骨の良性腫瘍や嚢胞の摘出は18件でした。

顎変形症に対する上顎骨形成術（Le Fort I 骨切り術）は3件、下顎骨形成術は左右下顎枝矢状分割術が3件でした。

上顎骨形成術（Le Fort I 骨切り術）と下顎骨形成術（左右下顎枝矢状分割術）は同時におこなっています。

全身麻酔下で手術をおこなった患者さんの多くは歯科医院から紹介をいただいた方です。

たくさんの貴重な症例のご紹介をいただいたことに心より感謝申し上げます。

今後も地域の医療機関と連携を図りながら口腔外科的治療を中心として診療をおこなっていきたいと思います。

抜 歯		3 4 2
内 訳	埋伏歯抜歯術	1 7 1
	埋伏歯以外の抜歯	1 7 1
歯根嚢胞摘出手術		3 6
下顎骨形成術（下顎枝矢状分割術）		3
上顎骨形成術（Le Fort I 骨切り術）		3
顎骨内異物除去術（プレート等）		6
顎骨腫瘍・嚢胞摘出術		1 8
頬粘膜腫瘍切除術		1
口蓋腫瘍切除術		1
下顎隆起形成術		3
歯根端切除術		1
歯肉・歯槽部腫瘍手術		1
骨瘤切除手術		3
舌小帯形成術		1
合 計		4 1 9

腹水濾過濃縮再静注法（CART）についてのご紹介

臨床工学科 室長 一色 哲

臨床工学科の業務の一つでもあります腹水濾過濃縮再静注法につきましてご紹介させていただきます。

腹水濾過濃縮再静注法(CART:Cell-free and Concentrated Ascites Reinfusion Therapy)は、難治性腹水に対する治療法の一つであります。腹腔から腹水を体外に取り出し、専用のフィルターで細胞や細菌等を除去し、さらに濾過・濃縮してアルブミンなど有用成分を濃縮された腹水として点滴で戻す治療法となります。

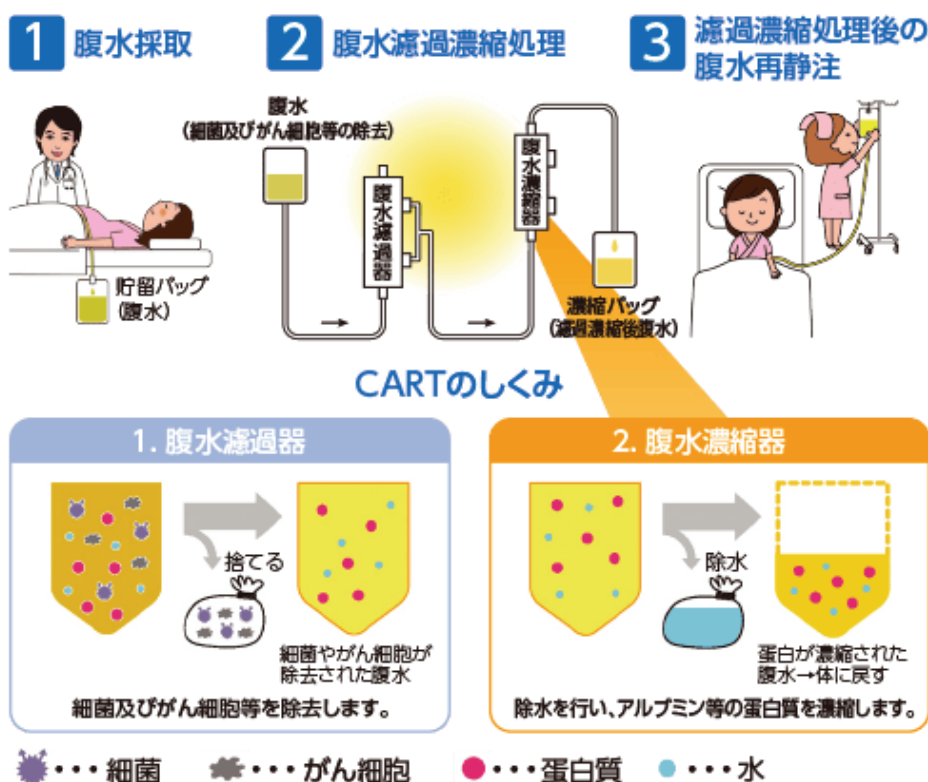
肝硬変診療ガイドラインをはじめ、卵巣・卵管癌・腹膜癌治療、胃がん診療、がん患者の消化器症状の緩和等でCART治療が推奨され、治療の有効性につきまして期待されています。

従来の単純穿刺排液法では、腹水とともに血漿タンパクが喪失し、低アルブミン血症や浮腫、倦怠感の悪化を招くことがありましたが、CART治療ではこれらのリスクが低減できるとされております。特に、利尿剤が無効あるいは、使用困難な症例、または栄養状態の改善が求められる場合において有用であると報告されております。

一方で、CART治療には再静注時に伴う副反応（発熱、悪寒、循環負荷など）のリスクがあるため、施行には十分な注意とモニタリングが必要であります。

体への負担を抑えた、このCART治療を積極的に患者様にご提案することでQOLの改善に繋がると考えております。

CART治療につきましてご不明な点がありましたら当院までどうぞお気軽に相談くださいますようお願い申し上げます。



発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室
〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3
TEL 0155-25-3121 (病院代表) / 0120-558-091 (連携室直通)
FAX 0155-27-0248 (連携室専用) e-mail renkei@zhi.or.jp

